

円サポート

運用報告書(全体版)

第109期(決算日 2020年3月10日) 第111期(決算日 2020年5月11日) 第113期(決算日 2020年7月10日)
 第110期(決算日 2020年4月10日) 第112期(決算日 2020年6月10日) 第114期(決算日 2020年8月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
 「円サポート」は、2020年8月11日に第114期の決算を行ないましたので、第109期から第114期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2011年2月28日から2026年2月10日までです。	
運用方針	主として「ソブリン(円ヘッジ) マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	円 サ ポ ー ト	「ソブリン(円ヘッジ) マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ソブリン(円ヘッジ) マザーファンド	内外のソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等をいいます。)を主要投資対象とします。
組入制限	円 サ ポ ー ト	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ソブリン(円ヘッジ) マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

<641537>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
 www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
 午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債券先物比率	純資産総額	
	(分配落)	税分	達配				
	円	円	騰落	%	%	百万円	
85期(2018年3月12日)	9,115	35		0.5	90.9	—	3,721
86期(2018年4月10日)	9,175	25		0.9	93.9	—	3,736
87期(2018年5月10日)	9,084	25		△0.7	92.2	—	3,625
88期(2018年6月11日)	9,059	25		0.0	93.6	△15.3	3,308
89期(2018年7月10日)	9,123	25		1.0	95.2	—	3,189
90期(2018年8月10日)	9,072	25		△0.3	89.5	—	3,133
91期(2018年9月10日)	9,039	25		△0.1	90.8	—	3,005
92期(2018年10月10日)	8,883	25		△1.4	90.5	—	2,898
93期(2018年11月12日)	8,908	25		0.6	88.8	—	2,873
94期(2018年12月10日)	8,975	25		1.0	89.5	—	2,854
95期(2019年1月10日)	8,950	25		0.0	86.1	△3.2	2,799
96期(2019年2月12日)	9,011	25		1.0	87.8	△1.9	2,792
97期(2019年3月11日)	9,050	25		0.7	86.8	△1.2	2,737
98期(2019年4月10日)	9,072	25		0.5	87.2	—	2,663
99期(2019年5月10日)	9,060	25		0.1	86.7	—	2,606
100期(2019年6月10日)	9,196	25		1.8	86.1	—	2,572
101期(2019年7月10日)	9,227	25		0.6	84.1	—	2,503
102期(2019年8月13日)	9,368	25		1.8	77.1	—	2,391
103期(2019年9月10日)	9,309	25		△0.4	80.6	—	2,308
104期(2019年10月10日)	9,319	25		0.4	79.2	—	2,258
105期(2019年11月11日)	9,088	25		△2.2	81.6	—	2,162
106期(2019年12月10日)	9,089	25		0.3	83.2	—	2,096
107期(2020年1月10日)	9,013	25		△0.6	93.3	—	2,033
108期(2020年2月10日)	9,120	15		1.4	96.3	—	2,030
109期(2020年3月10日)	9,349	15		2.7	92.7	—	2,003
110期(2020年4月10日)	8,981	15		△3.8	93.2	—	1,878
111期(2020年5月11日)	9,052	15		1.0	92.8	—	1,886
112期(2020年6月10日)	8,996	15		△0.5	97.3	—	1,845
113期(2020年7月10日)	9,132	15		1.7	94.0	—	1,811
114期(2020年8月11日)	9,167	15		0.5	97.1	—	1,796

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率	率		
第109期	(期 首) 2020年2月10日	円		%	%	%
	2月末	9,120	—	—	96.3	—
	(期 末) 2020年3月10日	9,222	1.1	—	95.6	—
第110期	(期 首) 2020年3月10日	9,364	2.7	—	92.7	—
	3月末	9,349	—	—	92.7	—
	(期 末) 2020年4月10日	9,108	△2.6	—	94.0	—
第111期	(期 首) 2020年4月10日	8,996	△3.8	—	93.2	—
	4月末	8,981	—	—	93.2	—
	(期 末) 2020年5月11日	9,051	0.8	—	92.2	—
第112期	(期 首) 2020年5月11日	9,067	1.0	—	92.8	—
	5月末	9,052	—	—	92.8	—
	(期 末) 2020年6月10日	9,065	0.1	—	96.2	—
第113期	(期 首) 2020年6月10日	9,011	△0.5	—	97.3	—
	6月末	8,996	—	—	97.3	—
	(期 末) 2020年7月10日	9,124	1.4	—	96.7	—
第114期	(期 首) 2020年7月10日	9,147	1.7	—	94.0	—
	7月末	9,132	—	—	94.0	—
	(期 末) 2020年8月11日	9,173	0.4	—	96.9	—
		9,182	0.5	—	97.1	—

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

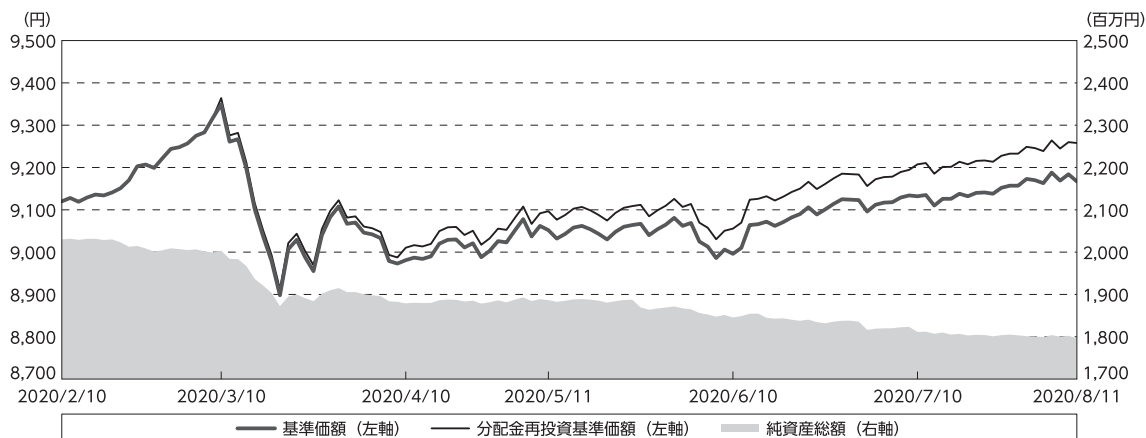
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○運用経過

(2020年2月11日～2020年8月11日)

作成期間中の基準価額等の推移



第109期首：9,120円

第114期末：9,167円 (既払分配金 (税込み)：90円)

騰落率：1.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2020年2月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、日本および世界の高格付け国の債券に実質的に投資を行なうとともに、外貨建資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資債券からのインカム収入を得たこと。
- ・投資対象国の国債利回りが総じて低下 (債券価格は上昇) したこと。

<値下がり要因>

- ・為替ヘッジに伴う費用を支払ったこと。

投資環境

(債券市況)

当ファンドが投資対象国とした債券市場では、10年国債利回りは期間の初めと比べて総じて低下しました。期間の初めから2020年3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に与える悪影響が懸念され投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、米国連邦準備制度理事会（FRB）の緊急利下げや欧州中央銀行（ECB）による金融緩和政策の長期化観測などを背景に、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。3月中旬から期間末にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されたことや、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の声明を受けて景気回復への不透明感が高まったことなどが利回りの低下要因となったものの、新型コロナウイルスの感染拡大による金融市場の動揺を受けて投資家が現金保有比率を高めるために債券を売却する動きが先行したことや、欧米で新型コロナウイルスの感染対策のための各種規制を緩和する動きから経済活動の早期再開期待が高まったこと、ドイツ政府による景気刺激策の合意など欧米主要国による経済対策のための財政拡大が示されたことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて上昇（債券価格は下落）しました。

当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド)

投資対象国は、為替ヘッジ後の金利水準、市場の流動性、財政赤字の状況などを考慮して決定しました。

期間の初めは、アメリカ、ベルギー、フランス、スウェーデン、オーストラリアの5カ国へ投資を行ないました。

2020年4月に、フランスを非保有とし、新規にカナダを組み入れました。ヘッジ後の投資妙味でカナダがフランスを上回る状況となったことが入れ替えの理由です。期間中の各国の投資比率は、ECBの量的緩和を含む緩和的な金融スタンスの強さから、引き続きベルギーの投資比率を高め維持しました。

全体のデュレーション（金利感応度）については、期間中に長期化しました。

その結果、期間末時点での投資対象国は、アメリカ、カナダ、ベルギー、スウェーデン、オーストラリアの5カ国となりました。

また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日	2020年7月11日～ 2020年8月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.160%	15 0.167%	15 0.165%	15 0.166%	15 0.164%	15 0.163%
当期の収益	15	5	11	9	11	12
当期の収益以外	—	9	3	5	3	2
翌期繰越分配対象額	133	123	119	114	111	108

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド)

引き続き、現在投資を行なっている5カ国への投資を継続することを検討します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度に維持することを検討しますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。外貨建資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年2月11日～2020年8月11日)

項 目	第109期～第114期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 21	% 0.227	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.092)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.119)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.056	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.048)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	26	0.283	
作成期間の平均基準価額は、9,123円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

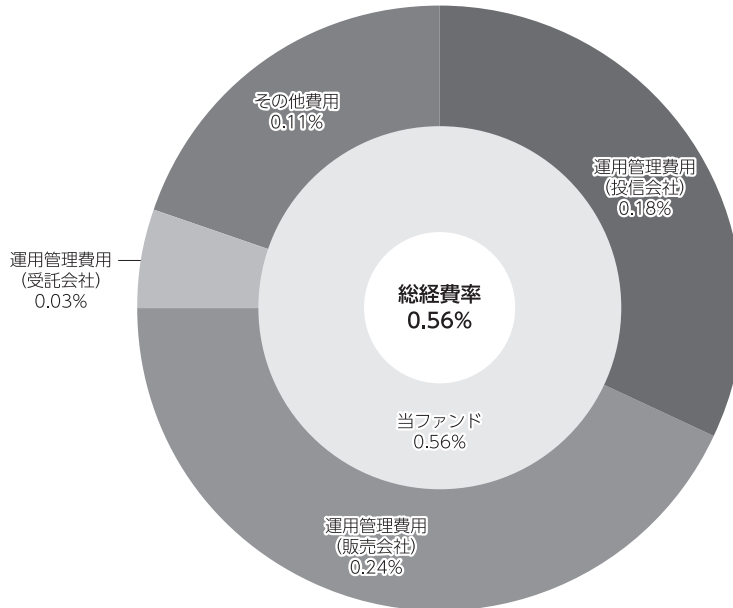
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.56%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年2月11日～2020年8月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第109期～第114期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ソブリン (円ヘッジ) マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 190,119	千円 262,590

○利害関係人との取引状況等

(2020年2月11日～2020年8月11日)

利害関係人との取引状況

<円サポート>

区分	第109期～第114期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 7	百万円 7	% 100.0	百万円 7	百万円 7	% 100.0

<ソブリン (円ヘッジ) マザーファンド>

区分	第109期～第114期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 69	百万円 69	% 100.0	百万円 69	百万円 69	% 100.0

平均保有割合 1.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年2月11日～2020年8月11日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年2月11日～2020年8月11日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年8月11日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第108期末		第114期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
ソブリン (円ヘッジ) マザーファンド			1,441,749		1,251,630	1,751,406

(注) 親投資信託の2020年8月11日現在の受益権総口数は、83,152,779千口です。

○投資信託財産の構成

(2020年8月11日現在)

項	目	第114期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
ソブリン (円ヘッジ) マザーファンド		1,751,406	97.1
コール・ローン等、その他		53,201	2.9
投資信託財産総額		1,804,607	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ソブリン (円ヘッジ) マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産 (117,209,198千円) の投資信託財産総額 (120,819,491千円) に対する比率は97.0%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=106.17円、1カナダドル=79.52円、1ユーロ=124.48円、1スウェーデンクローナ=12.10円、1オーストラリアドル=75.86円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
	2020年3月10日現在	2020年4月10日現在	2020年5月11日現在	2020年6月10日現在	2020年7月10日現在	2020年8月11日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,021,050,775	1,889,335,183	1,892,501,174	1,853,720,863	1,827,500,450	1,804,607,999
コール・ローン等	51,270,632	49,342,120	48,323,337	47,873,475	46,718,582	46,017,004
ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド(評価額)	1,956,519,411	1,831,695,769	1,844,177,837	1,799,416,601	1,765,984,167	1,751,406,729
未収入金	13,260,732	8,297,294	—	6,430,787	14,797,701	7,184,266
(B) 負債	17,557,495	10,353,758	5,991,857	8,085,592	16,201,796	8,258,788
未払収益分配金	3,214,454	3,138,122	3,126,202	3,077,315	2,975,238	2,939,233
未払解約金	12,988,784	5,689,108	1,271,938	3,921,351	12,005,447	3,924,890
未払信託報酬	1,194,517	1,211,850	1,126,473	473,091	463,562	485,962
未払利息	61	26	21	43	20	22
その他未払費用	159,679	314,652	467,223	613,792	757,529	908,681
(C) 純資産総額(A-B)	2,003,493,280	1,878,981,425	1,886,509,317	1,845,635,271	1,811,298,654	1,796,349,211
元本	2,142,969,839	2,092,081,491	2,084,134,667	2,051,543,768	1,983,492,100	1,959,488,803
次期繰越損益金	△ 139,476,559	△ 213,100,066	△ 197,625,350	△ 205,908,497	△ 172,193,446	△ 163,139,592
(D) 受益権総口数	2,142,969,839口	2,092,081,491口	2,084,134,667口	2,051,543,768口	1,983,492,100口	1,959,488,803口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,349円	8,981円	9,052円	8,996円	9,132円	9,167円

(注) 当ファンドの第109期首元本額は2,225,941,632円、第109～114期中追加設定元本額は12,399,980円、第109～114期中一部解約元本額は278,852,809円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第109期0.9349円、第110期0.8981円、第111期0.9052円、第112期0.8996円、第113期0.9132円、第114期0.9167円です。

(注) 2020年8月11日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は163,139,592円です。

○損益の状況

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日	2020年7月11日～ 2020年8月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 457	△ 989	△ 1,269	△ 1,819	△ 1,204	△ 841
受取利息	—	30	—	—	—	—
支払利息	△ 457	△ 1,019	△ 1,269	△ 1,819	△ 1,204	△ 841
(B) 有価証券売買損益	53,696,469	△ 72,372,293	19,073,104	△ 7,664,341	30,442,031	10,550,526
売買益	54,413,204	1,449,607	19,112,248	52,802	31,136,156	10,596,689
売買損	△ 716,735	△ 73,821,900	△ 39,144	△ 7,717,143	△ 694,125	△ 46,163
(C) 信託報酬等	△ 1,354,196	△ 1,373,842	△ 1,286,182	△ 626,677	△ 614,048	△ 643,724
(D) 当期損益金(A+B+C)	52,341,816	△ 73,747,124	17,785,653	△ 8,292,837	29,826,779	9,905,961
(E) 前期繰越損益金	△ 41,678,842	7,263,787	△ 69,300,905	△ 53,739,656	△ 62,843,616	△ 35,527,050
(F) 追加信託差損益金	△ 146,925,079	△ 143,478,607	△ 142,983,896	△ 140,798,689	△ 136,201,371	△ 134,579,270
(配当等相当額)	(21,201,617)	(20,706,557)	(20,633,012)	(20,314,812)	(19,646,773)	(19,412,249)
(売買損益相当額)	(△168,126,696)	(△164,185,164)	(△163,616,908)	(△161,113,501)	(△155,848,144)	(△153,991,519)
(G) 計(D+E+F)	△ 136,262,105	△ 209,961,944	△ 194,499,148	△ 202,831,182	△ 169,218,208	△ 160,200,359
(H) 収益分配金	△ 3,214,454	△ 3,138,122	△ 3,126,202	△ 3,077,315	△ 2,975,238	△ 2,939,233
次期繰越損益金(G+H)	△ 139,476,559	△ 213,100,066	△ 197,625,350	△ 205,908,497	△ 172,193,446	△ 163,139,592
追加信託差損益金	△ 146,925,079	△ 143,478,607	△ 142,983,896	△ 140,798,689	△ 136,201,371	△ 134,579,270
(配当等相当額)	(21,202,195)	(20,707,490)	(20,633,676)	(20,315,544)	(19,648,054)	(19,412,885)
(売買損益相当額)	(△168,127,274)	(△164,186,097)	(△163,617,572)	(△161,114,233)	(△155,849,425)	(△153,992,155)
分配準備積立金	7,448,520	5,188,565	4,364,013	3,133,469	2,408,635	1,899,468
繰越損益金	—	△ 74,810,024	△ 59,005,467	△ 68,243,277	△ 38,400,710	△ 30,459,790

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年2月11日～2020年8月11日)は以下の通りです。

項 目	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日	2020年7月11日～ 2020年8月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,375,171円	1,062,900円	2,325,541円	1,918,794円	2,359,467円	2,461,187円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金繰戻後)	8,287,803円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	21,202,195円	20,707,490円	20,633,676円	20,315,544円	19,648,054円	19,412,885円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円	7,263,787円	5,164,674円	4,291,990円	3,024,406円	2,377,514円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	31,865,169円	29,034,177円	28,123,891円	26,526,328円	25,031,927円	24,251,586円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	148円	138円	134円	129円	126円	123円
g. 分配金	3,214,454円	3,138,122円	3,126,202円	3,077,315円	2,975,238円	2,939,233円
h. 分配金(1万円当たり)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
1 万口当たり分配金 (税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

○お知らせ

約款変更について

2020年2月11日から2020年8月11日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、信託期間を5年更新して信託終了日を2026年2月10日とするべく、信託約款の一部に所要の変更を行ないました。これにあわせて、受益者の利便性向上を図るため、信託報酬体系を年万分の68（税抜）で一律とするスキームから、わが国の新発10年国債の利回りに応じて年万分の28～68（税抜）で変動するスキームに変更すべく、2020年5月9日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
（第4条、第40条、附則第4条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日 2020年2月10日）
（2019年2月13日～2020年2月10日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2011年2月28日から原則無期限です。
運用方針	内外の公社債に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	内外のソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

原則として、日本および世界の高格付け国の中から、為替ヘッジコスト考慮後の利回りや信用力などを勘案して複数国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資するとともに、外貨建て資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

ポートフォリオの構築にあたっては、為替ヘッジコスト考慮後の利回りの水準や方向性、信用力、流動性などの分析を行ない、組入国やその配分比率、および組入銘柄を決定します。なお、金利動向などによっては、組入債券の一部売却や先物取引などの活用により、実質的な債券組入比率を調整することがあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	騰落率			
5期(2016年2月10日)	12,610	1.8	95.6	—	53,011
6期(2017年2月10日)	12,516	△0.7	92.0	—	74,235
7期(2018年2月13日)	12,604	0.7	93.4	△24.8	100,274
8期(2019年2月12日)	13,023	3.3	90.1	△1.9	101,080
9期(2020年2月10日)	13,735	5.5	98.7	—	113,252

(注) 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2019年2月12日	13,023	—	90.1	△1.9
2月末	13,019	△0.0	92.4	—
3月末	13,261	1.8	87.8	—
4月末	13,202	1.4	87.3	—
5月末	13,347	2.5	86.6	—
6月末	13,545	4.0	86.6	—
7月末	13,669	5.0	81.5	—
8月末	13,935	7.0	78.1	—
9月末	13,853	6.4	82.6	—
10月末	13,656	4.9	84.3	—
11月末	13,667	4.9	85.6	—
12月末	13,543	4.0	89.0	—
2020年1月末	13,767	5.7	96.6	—
(期末) 2020年2月10日	13,735	5.5	98.7	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○運用経過

(2019年2月13日～2020年2月10日)

基準価額の推移

期間の初め13,023円の基準価額は、期間末に13,735円となり、騰落率は+5.5%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資債券からのインカム収入を得たこと。
- ・投資対象各国の国債利回りが総じて低下（債券価格は上昇）したこと。

<値下がり要因>

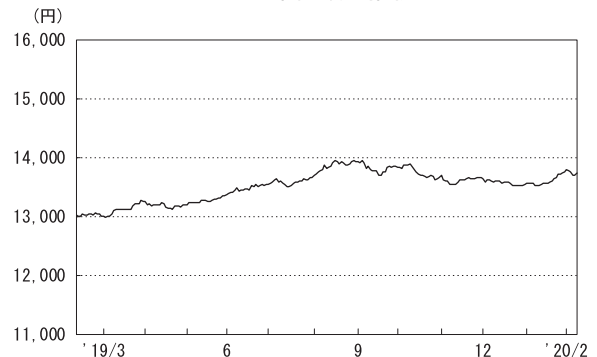
- ・為替ヘッジに伴う費用を支払ったこと。

(債券市況)

当ファンドが投資対象国とした債券市場では、10年国債利回りは期間の初めと比べて総じて低下しました。

期間の初めから2019年6月下旬にかけては、米国連邦準備制度理事会（FRB）および欧州中央銀行（ECB）が今後の政策金利について、2019年内は据え置くとの見通しを示したことや、軟調なユーロ圏ならびにドイツの景況感指数を受けた欧州経済への先行き懸念、米国大統領が中国製品への関税の引き上げの実施を表明し、中国がその対抗措置を発表したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。7月上旬から8月下旬にかけては、貿易や通貨政策を巡る米国と中国との間の関係悪化から市場がリスク回避志向を強めるなか、ドイツおよび中国の経済指標が軟調となり、世界経済の下振れリスクが意識されたことなどをを受けて、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。9月上旬から12月下旬にかけては、FRBおよびECB、オーストラリア準備銀行（RBA）による政策金利の引き下げなどが利回りの低下要因となったものの、英国の欧州連合（EU）離脱を巡り、離脱協定の修正案や離脱期限の延期について英国とEUが合意したことや、米中両政府が部分的な通商合意に至り、世界経済の先行き不透明感が後退したこと、また、スウェーデンの中央銀行によるマイナス金利の解除を受けて、ECBによる追加利下げ期待が後退したことなどから、各国の10年国債利回りは総じて上昇（債券価格は下落）しました。2020年1月上旬から期間末にかけては、米国とイランとの間の対立による中東情勢の緊迫化や、新型肺炎の世界的感染拡大への警戒感が高まったこと、ECB理事会で大規模な金融緩和策の据え置きと包括的な金融政策の戦略検証が決定され、当面は緩和的政策が維持されるとの観測が広がったことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2019/02/12	2019/08/29	2019/03/04	2020/02/10
13,023円	13,961円	12,988円	13,735円

ポートフォリオ

投資対象国は、為替ヘッジ後の金利水準、市場の流動性、財政赤字の状況などを考慮して決定しました。

期間の初めは、ベルギー、フランス、スウェーデン、イギリス、アメリカの5カ国へ投資を行ないました。期間の初めから2019年6月にかけては、欧州域内の景気モメンタムの弱さや、ECBの緩和的な金融スタンスの強さなどから、フランスおよびベルギーの投資比率を高水準に維持しましたが、世界的な金利低下局面での感応度の高さも考慮して、6月に両国の比率を若干縮小し、イギリスおよびアメリカの比率を拡大させました。8月に、債券利回りの水準の低さや、ベルギーとの利回りの連動の強さからフランスを非保有としました。一方、住宅市場の減速感の強まりや、中国経済減速の影響を受けやすいことからオーストラリアを新規に組み入れました。各国の投資比率は、ヘッジ後の利回り水準が相対的に低いことや、相対的に良好なファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を考慮してアメリカとイギリスの比率を縮小しました。その後、期間末まで引き続き、欧州域内の景気モメンタムの弱さや、ECBの緩和的な金融スタンスの強さから、ベルギーの投資比率を高水準に維持しました。また、12月には景況感の良好なアメリカの比率を削減し、金融緩和期待の強いオーストラリアの投資比率を拡大しました。2020年1月には合意なきEU離脱の可能性がほぼなくなったことから、利回りの低下の可能性が限定的となったと考え、円ヘッジ後の利回り水準を考慮し、イギリスを非保有としフランスを組み入れました。

全体のデュレーション（金利感応度）については、2019年3月に、債券利回りが大幅に低下したことから、前月末比で若干短期化しました。4月から期間末にかけては、ほぼ同水準とし、全体のデュレーションを安定的に推移させました。

その結果、期間末時点での投資対象国は、アメリカ、ベルギー、フランス、スウェーデン、オーストラリアの5カ国となりました。

また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、現在投資を行なっている5カ国への投資を継続することを検討します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度に維持することを検討しますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないます。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年2月13日～2020年2月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (1) (0)	0.011 (0.011) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、13,538円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月13日～2020年2月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額	
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 149,649	千アメリカドル 147,881	
		地方債証券	32,105	36,479	
		特殊債券	28,150	—	
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ	
		フランス	国債証券	159,204	252,644
		ベルギー	国債証券	308,557	182,270
	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 61,822	千イギリスポンド 131,668	
		特殊債券	—	9,988	
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローナ 20,897	千スウェーデンクローナ 107,403	
		特殊債券	734,881 (214,358)	203,681 (214,358)	
オーストラリア		特殊債券	千オーストラリアドル 254,139	千オーストラリアドル —	

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 17,773	百万円 19,820

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月13日～2020年2月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			B A			D C
金銭信託	百万円 105,047	百万円 105,047	% 100.0	百万円 105,047	百万円 105,047	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年2月13日～2020年2月10日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2020年2月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 99,800	千アメリカドル 106,727	千円 11,704,843	% 10.3	% —	% 7.6	% 2.7	% —
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
フランス	123,500	141,219	16,960,430	15.0	—	15.0	—	—
ベルギー	340,000	384,553	46,184,899	40.8	—	40.8	—	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 1,416,500	千スウェーデンクローナ 1,613,886	18,333,755	16.2	—	16.2	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 225,230	千オーストラリアドル 253,366	18,564,131	16.4	—	16.0	0.4	—
合 計	—	—	111,748,061	98.7	—	95.5	3.2	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利率	当 期 末			償還年月日
		額面金額	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) 国債証券	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
US TREASURY N/B	3.125	3,000	3,385	371,267	2028/11/15
地方債証券					
PROVINCE OF ALBERTA	3.3	35,000	38,862	4,262,103	2028/3/15
PROVINCE OF QUEBEC	2.5	17,500	18,348	2,012,293	2026/4/20
PROVINCE OF QUEBEC	2.75	5,000	5,354	587,232	2027/4/12
特殊債券(除く金融債)					
ASIAN DEVELOPMENT BANK	1.625	28,000	28,150	3,087,291	2023/1/24
INTER-AMERICAN DEVEL BK	4.375	1,300	1,819	199,564	2044/1/24
TENN VALLEY AUTHORITY	2.875	10,000	10,805	1,185,090	2027/2/1
小 計				11,704,843	
(ユーロ…フランス) 国債証券		千ユーロ	千ユーロ		
FRANCE (GOVT OF)	0.5	40,000	42,276	5,077,388	2026/5/25
FRANCE (GOVT OF)	1.0	32,000	35,119	4,217,881	2027/5/25
FRANCE (GOVT OF)	2.75	24,000	29,746	3,572,602	2027/10/25
FRANCE (GOVT OF)	0.75	21,000	22,815	2,740,085	2028/11/25
FRANCE (GOVT OF)	5.75	6,500	11,261	1,352,473	2032/10/25
(ユーロ…ベルギー) 国債証券					
BELGIUM KINGDOM	0.8	4,000	4,266	512,451	2025/6/22
BELGIUM KINGDOM	0.8	33,000	35,666	4,283,562	2027/6/22
BELGIUM KINGDOM	5.5	29,000	42,742	5,133,414	2028/3/28
BELGIUM KINGDOM	0.8	77,000	83,664	10,048,159	2028/6/22
BELGIUM KINGDOM	0.9	122,500	134,624	16,168,365	2029/6/22
BELGIUM KINGDOM	1.0	62,000	69,160	8,306,198	2031/6/22
BELGIUM KINGDOM	1.25	12,500	14,427	1,732,747	2033/4/22
ユーロ計				63,145,330	

銘柄	利率	当 期 末			償還年月日
		額面金額	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(スウェーデン) 特殊債券(除く金融債)	%	千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ	千円	
EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.25	10,000	10,486	119,127	2025/5/12
EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.75	319,000	347,592	3,948,652	2026/11/12
EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.5	25,000	26,848	305,001	2027/3/2
EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.375	100,000	107,164	1,217,383	2028/5/12
EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.25	100,000	106,230	1,206,774	2029/11/12
EUROPEAN INVESTMENT BANK	3.75	300,000	404,656	4,596,895	2032/6/1
KOMMUNINVEST I SVERIGE	1.0	230,000	237,111	2,693,589	2026/11/12
NORDIC INVESTMENT BANK	2.94	132,500	164,831	1,872,488	2031/10/17
OEBK OEST. KONTROLLBANK	1.37	200,000	208,965	2,373,842	2028/11/13
小 計				18,333,755	
(オーストラリア) 特殊債券(除く金融債)		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
AFRICAN DEVELOPMENT BANK	4.0	6,000	6,756	495,061	2025/1/10
ASIAN DEVELOPMENT BANK	3.75	13,000	14,639	1,072,665	2025/3/12
BNG BANK NV	3.3	25,000	28,671	2,100,795	2029/4/26
EUROFIMA	3.35	51,560	58,732	4,303,338	2029/5/21
KFW	4.0	20,000	22,751	1,667,037	2025/2/27
KOMMUNALBANKEN AS	2.4	27,990	29,922	2,192,414	2029/11/21
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	3.25	52,930	60,268	4,415,857	2028/4/12
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	1.9	10,000	10,266	752,192	2030/1/30
NEDER WATERSCHAPS BANK	3.3	10,750	12,298	901,119	2029/5/2
NORDIC INVESTMENT BANK	3.3	8,000	9,057	663,648	2027/8/16
小 計				18,564,131	
合 計				111,748,061	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年2月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	111,748,061	95.1
コール・ローン等、その他	5,778,622	4.9
投資信託財産総額	117,526,683	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（112,085,462千円）の投資信託財産総額（117,526,683千円）に対する比率は95.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=109.67円、1ユーロ=120.10円、1スウェーデンクローナ=11.36円、1オーストラリアドル=73.27円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年2月10日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A) 資産				230,136,771,313
	コール・ローン等			1,925,061,395
	公社債(評価額)			111,748,061,256
	未収入金			115,588,522,875
	未収利息			674,944,837
	前払費用			200,153,676
	差入委託証拠金			27,274
(B) 負債				116,884,558,551
	未払金			115,651,452,460
	未払解約金			1,233,105,783
	未払利息			308
(C) 純資産総額(A-B)				113,252,212,762
	元本			82,452,926,278
	次期繰越損益金			30,799,286,484
(D) 受益権総口数				82,452,926,278口
	1万口当たり基準価額(C/D)			13,735円

(注) 当ファンドの期首元本額は77,614,301,069円、期中追加設定元本額は26,035,621,920円、期中一部解約元本額は21,196,996,711円です。

(注) 2020年2月10日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・ 高格付先進国ソブリン債券(円ヘッジ)ファンド(適格機関投資家向け)	18,496,016,151円	・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2015-09Q(適格機関投資家販売制限)	1,239,752,072円
・ 高格付先進国ソブリンオープン・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	9,079,429,597円	・ 高格付債券ファンド(為替ヘッジ70)毎月分配型	1,176,518,715円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ90 2017-09Q(適格機関投資家向け)	3,324,988,917円	・ 高格付先進国ソブリン債券(円ヘッジ)ファンド(年2回決算型・適格機関投資家向け)	1,148,763,698円
・ 高格付先進国ソブリンファンド・為替ヘッジあり 2016-09Q(適格機関投資家販売制限)	3,307,642,270円	・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2014-10(適格機関投資家販売制限)	1,060,615,290円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ90 2015-12Q(適格機関投資家向け)	3,286,623,585円	・ 高格付先進国ソブリンファンド・為替ヘッジあり 2016-10Q(適格機関投資家販売制限)	939,239,752円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ90 2016-01Q(適格機関投資家向け)	3,283,861,560円	・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2014-09Q(適格機関投資家販売制限)	800,442,633円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ80 2017-06Q(適格機関投資家向け)	2,942,661,842円	・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2015-03Q(適格機関投資家販売制限)	723,861,989円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ80 2015-06Q(適格機関投資家向け)	2,918,596,879円	・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2014-11Q(適格機関投資家販売制限)	592,710,332円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ80 2016-07Q(適格機関投資家向け)	2,873,298,624円	・ PF 先進国ソブリンオープン・為替ヘッジ70(適格機関投資家向け)	506,066,992円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2017-07Q(適格機関投資家向け)	2,582,543,369円	・ スマート・ラップ・ジャパン(1年決算型)	321,360,210円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2014-09Q-2(適格機関投資家向け)	2,552,567,826円	・ スマート・ラップ・ジャパン(毎月分配型)	260,154,198円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2016-10Q(適格機関投資家向け)	2,549,186,970円	・ 高格付債券ファンド(為替ヘッジ70)資産成長型	107,447,990円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2016-04Q(適格機関投資家販売制限)	2,538,898,393円	・ 時間分散型バランスファンド(安定指向)2016-08	78,852,203円
・ 高格付先進国ソブリンファンド 2013-05M(適格機関投資家向け)	2,267,517,624円	・ 高格付先進国ソブリンファンド・為替ヘッジあり 2013-07Q(適格機関投資家販売制限)	77,141,442円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2013-11M(適格機関投資家販売制限)	1,972,124,535円	・ 時間分散型バランスファンド(安定指向)2016-11	31,198,768円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2015-04Q(適格機関投資家販売制限)	1,768,511,030円	・ 時間分散型バランスファンド(安定指向)2017-02	26,841,947円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2014-05M(適格機関投資家販売制限)	1,675,972,762円	・ 時間分散型バランスファンド(成長指向)2016-11	24,483,451円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2015-02Q(適格機関投資家販売制限)	1,664,218,177円	・ スマート・ラップ・グローバル・インカム(1年決算型)	22,008,198円
・ 円キャッシュ・アルファ・ファンド(SMA専用)	1,478,794,394円	・ 時間分散型バランスファンド(成長指向)2017-02	18,505,488円
・ 円サポート	1,441,749,829円	・ 時間分散型バランスファンド(成長指向)2016-08	16,958,580円
・ PF 先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ70 2014-07(適格機関投資家販売制限)	1,258,826,179円	・ スマート・ラップ・グローバル・インカム(毎月分配型)	15,971,817円

(注) 1口当たり純資産額は1.3735円です。

○損益の状況

(2019年2月13日～2020年2月10日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益		1,638,453,869
	受取利息		1,643,239,773
	その他収益金		796,252
	支払利息	△	5,582,156
(B)	有価証券売買損益		3,994,839,048
	売買益		11,756,283,981
	売買損	△	7,761,444,933
(C)	先物取引等取引損益	△	84,660,682
	取引益		6,569,622
	取引損	△	91,230,304
(D)	保管費用等	△	12,189,979
(E)	当期損益金(A+B+C+D)		5,536,442,256
(F)	前期繰越損益金		23,465,986,697
(G)	追加信託差損益金		9,338,299,194
(H)	解約差損益金	△	7,541,441,663
(I)	計(E+F+G+H)		30,799,286,484
	次期繰越損益金(I)		30,799,286,484

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2019年2月13日から2020年2月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年4月11日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第51条)